

聖徳の教え育む技法

Ways to Advance Teaching Skills at SEITOKU

No. 6, 2011

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

Ways to Advance Teaching Skills at SEITOKU

…「教えと学びの共同体」を発展させる

東京聖徳学園 理事長・学園長

聖徳大学・聖徳大学短期大学部

学長 川 並 弘 純

2011年は学園の内外で大きな出来事が続きました。学園では、その発展に心血を注ぎ、幼稚園から大学院までの学園を創り上げてきた前理事長・学園長・学長の川並弘昭が5月30日に他界しました。

学園の外では3月11日に東日本大震災が発生し、直後の大津波によって1万5千人を越える多くの命が失われました。この大震災に伴う津波は福島原発事故も惹き起こし、いまだ解決のメドが立っておりません。海外でもタイの大洪水が世界の生産活動に悪影響をもたらしました。自然の脅威だけでなく、欧州ではギリシャに始まるEU諸国の財政問題が深刻化し、ギリシャの救済を巡って混乱が生じました。米国でも財政問題が民主党と共和党の党派論争となって、初めて、米国債の格付けが下がりました。これらは円高を生みだし、日本経済の困難が増しています。このようにグローバル化が進み、世界の問題が日本に跳ね返り、日本の問題が世界に影響を与える時代だからこそ、未来を開く教育の重要性が高まっています。

本学の「建学の精神」である「和」は、聖徳太子の「十七条の憲法」から由来されています。聖徳太子は大陸に統一国家・隋が登場し、その結果、朝鮮半島の情勢が流動化する中で、国内をまとめるために「十七条の憲法」を制定したと伝えられます。今の世界情勢は、日本

編集後記

聖徳大学・聖徳大学短期大学部
自己点検評価委員会

おかげでさまで、この紀要も第6号を刊行することができました。様々な専門分野での教育実践の取り組みが報告されました。投稿いただいた多くの学科の先生方を始め、ご協力いただいた多くの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この紀要是言うまでもなく、教育実践の報告の場です。専門分野の研究成果を掲載する場としての紀要は別にあり、それは研究の先端を紹介し、それぞれの専門分野での研究を深めるためのものです。それに対し、この紀要是教育実践の報告でありますから、専門分野が異なっても、教育という共通性を備えています。

教育は、そもそも、地道な研究の蓄積の上に発展することは言うまでもありませんが、教育現場での活動を通じてなされるものです。能力も性格も異なる学生たちに面して、授業の目的・目標を達成するため、1コマ90分の展開を考えます。大事なポイントを定め、ポイントを理解させるように説明の仕方、あるいは補助資料や素材を工夫するなど、専門分野の研究とは異なる、独自の、しかし、専門分野を超えて共通の課題を内包しています。別の表現をすれば、現場に生きる知恵あるいはワザが要求されます。この紀要是専門分野が異なっても、この点での共通性を備えた報告を掲載しています。是非、これらの現場の論理を共有し、現場に生きる知恵あるいはワザを、学科を越えて、全学的に発展させていただければ幸いです。

(文責 T.M.)

聖徳の教え育む技法 編集委員（敬称略）

眞 壁 哲 夫 （女性キャリア学科教授）
菅 沼 憲 治 （心理学科教授）
辻 英 子 （日本文化学科教授）
野 原 八千代 （保育科教授）
小 泉 卓 （児童学科教授）
藤 原 保 明 （英米文化学科教授）
永 田 忠 博 （人間栄養学科教授）
海老江 康 二 （保育科教授）

－(FD) 紀要－
聖徳の教え育む技法
第6号

平成24年2月21日印刷

平成24年2月27日発行

編 集 聖徳大学自己点検・評価委員会

発行者 川並 弘純

発行所 聖徳大学・聖徳大学短期大学部

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

電 話 047-365-1111 (大代表)



聖徳大学短期大学部
は、(財)短期大学基準協会
による第三者評価
(認証評価)を平成17年
度に受け、その結果、平
成18年3月23日付で適
格と認定されました。

教育機関として日本初のダブル取得(2003年11月18日)



ISO9001 (教育の質マネジメントシステム)

ISO14001 (環境マネジメントシステム)